

# 都市再生整備計画

ぐんま そうじゃえきしゅうへんちく  
群馬総社駅周辺地区

ぐんま まえばし  
群馬県 前橋市

令和8年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	群馬県	市町村名	前橋市	地区名	群馬総社駅周辺地区	面積	49.6 ha
計画期間	令和 8 年度 ~ 令和 12 年度	交付期間	令和 8 年度 ~ 令和 12 年度				

**目標**  
 JR群馬総社駅周辺地区は、前橋市都市計画マスタープランにおいて「地域拠点」に位置づけられ、駅周辺の都市機能の整備・充実を図ることで、地域の連携を強化し、当該地域に居住する人々の交流機会の増加させ、新たな活力を生み出す住みよいまちづくりを目標とする。  
 東西を結ぶ自由通路を整備することにより、駅東西地域の連携を強化させ、群馬総社駅を中心とした日常生活を支える都市機能の充実と多くの人々が居住しやすい都市構造を構築する。  
 ・西側に駅前広場を整備することにより、地域住民の交流機会を増加させ、持続可能なコミュニティの形成を図る。  
 ・西口ロータリーを新設し、交通結節点機能を強化し、公共交通を中心とした交通ネットワークの形成を図る。  
 ・東口では、利便性と滞在の快適性を高めることで、自家用車に頼らず公共交通を選びたい環境を整備する。地域の人々が駅周辺を日常の延長として自然に利用し、公共空間を活かしたふれあいや交流が生まれる、暮らしに寄り添う空間づくりを進め、地域の交流機会を活性化させる。

**目標設定の根拠**  
 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)  
 JR群馬総社駅周辺整備では、JR線により分断されている地域の一体化とコミュニティ形成が目的である。  
 このことから、分断解消のために自由通路を整備し、コミュニティ形成のために西口駅前広場の整備を行う。  
 そのうえで、西口へのアクセシビリティ向上のために、西口駅前のロータリーを整備する。  
 また、東口においては、利便性と滞在快適性を向上させるロータリーの改修を行う。

**まちづくりの経緯及び現況**  
 JR群馬総社駅周辺では、線路による地域の分断が課題となっており、平成22年度に、地域住民より西口開設の要望が提出されたことがきっかけとなり、まちづくりが動き始めた。  
 そこから勉強会や地権者との話し合いが行われ、平成27年度に「西口駅前広場」と「群馬総社駅西口線」の都市計画決定が成された。  
 その後は4度の住民説明会を行いながら、令和5年度にJR東日本と自由通路整備の基本協定を締結した。  
 JR群馬総社駅は、東側の木道駅舎にのみ改札が存在する2面2線のホームを有した複線の駅であり、東側にはロータリーを含む駅前広場、駐輪場、駐車場があり、バスとタクシーが乗り入れている。  
 西側には駅関連施設は存在せず、東側とは線路によって分断されていることにより、東西エリアの交流機会が損なわれている。

**課題**  
 ・市民への都市づくりに関するアンケートでは、都市づくりの課題や問題点に、「鉄道、バスなどの公共交通利便性」を指摘する人が、全体の32.1%と最も多く、人口減少・高齢化による地域コミュニティの維持も、18.1%となっている。  
 ・また、まちづくりの方向性として、「いつまでも住み続けられる安全・安心なまち」を支持する人が、37.4%と最も多く、次いで、「人口減少・高齢化社会に対応したコンパクトで機能的なまち」が、21.4%となっている。  
 ・全市的に人口減少に歯止めがかからないなか、当該地区では、群馬総社駅東側を中心に民間の住宅開発が進み、新規居住者の流入により人口は増加傾向にある。しかしながら、増加は一部地域に限定され、世代構成や居住歴にばらつきがあることから、エリア全体としての一体感やコミュニティの形成が難しい状況となっている。  
 ・また、線路によって地域が東西が物理的に分断されているため、地域住民の活動や市街地形成に一体感が無く、東西それぞれで、コミュニティを維持することは困難であり、地域が一体となるコミュニティの形成が課題である。  
 ・交通の状況は、当該地区には、JR上越線群馬総社駅があり、路線バスも乗り入れていることから、比較的、移動性に優れている。  
 ・一方、現状では、東側に駅関連施設が集約されており、通勤通学の時間帯に利用者が集中して混雑が発生し、マイカー利用者が駅利用を嫌厭することにつながり、公共交通利用に対する意識が低い。  
 ・そのため、地域交通とまちづくりが一体となり、将来にわたり地域コミュニティの維持、発展し、「いつまでも住み続けられることができる」「安全・安心なまち」の実現に向けた結節点機能の充実と、地域コミュニティの醸成する交流機会の創出が課題となっている。

**将来ビジョン(中長期)**  
 【第七次前橋市総合計画改訂版】  
 ・重点施策の一つとして「交通ネットワークの充実」を掲げ、交通環境を整備し、市内外を様々な手段で安全快適に移動できる生活を実現することを目標として、利用者側に焦点を当てた公共交通の利用促進を図る。  
 【前橋市都市計画マスタープラン改訂版】  
 ・JR群馬総社駅付近は、地域住民の日常生活を支える地域拠点として、生活利便性に配慮した整備や利用増進を目指した周辺整備を進め、高い利便性を活かした中高密度の住宅地形成を図る。  
 【立地適正化計画】  
 ・JR群馬総社駅周辺地区は「生活拠点」として、日常生活に必要な施設を集約させることで、過度に自動車に頼らずに日常の生活ニーズを満たすことができるエリアを目指す。  
 【前橋市地域公共交通計画】  
 ・JR群馬総社駅は新たに西口を開設し、アクセスするための都市計画道路及び西口駅前広場の整備を行うことで公共交通等の乗り入れを可能とし、交通結節点としての機能強化を図る。  
 【前橋市アクションプログラム】  
 ・JR群馬総社駅は地域拠点のひとつであり、西口整備などの交通結節点強化により、生活利便性向上を図る。

**都市構造再編集中支援事業の計画**  
**都市機能配置の考え方**  
 JR群馬総社駅周辺は、前橋市都市計画マスタープランでは地域の拠点として位置づけられており、前橋市立地適正計画の基本方針における整備の目標は「地域が一体化されることによるコミュニティの形成と維持、及び生活環境の向上」となっている。  
 ・東側の利便性と滞在快適性を向上させる整備を行い、公共空間を活かした地域の交流機会を活性化させる。  
 ・東西を結ぶ自由通路の整備で地域を一体化させることにより、地域住民の連携を強化して、住民が主体となったまちづくりの機運をさらに高める。  
 ・西口駅前広場を整備することで、地域住民が交流する場と機会を作り出すことにより、東西の地域が一体となったコミュニティを形成・維持する。  
 ・西口ロータリーを新設し、様々な交通手段でアクセスすることを可能にすることで、現状は東側に集中している交通量を西側に分散させて、交通混雑を解消することにより生活環境を向上させる。  
 これらにより、JR群馬総社駅の交通結節点としての機能が強化され、公共交通の利用者の増加とともに東西エリアのコミュニティの形成を図る。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値			目標年度	
				従前値	基準年度	目標値	目標年度	
利用者の活動	種類	群馬総社駅における利用者の活動の種類	利用者の活動種類が増えることで、利用者間のコミュニティの形成につながる。	1	R7	5	R12	
滞在時間	分/ピーク時(2h)	群馬総社駅東口ロータリー、及び駅舎における駅利用者の滞在時間の合計	東口ロータリー改修により居心地の良い空間を創ることで、滞在時間の増加を図る。	600	R7	660	R12	
交通混雑の解消	m	東口における通勤通学時間帯の交通渋滞の延長	西口ロータリーやアクセス道路整備が完了するまでの間、東口ロータリーの改修により滞在快適性を向上させることで、通勤通学時間帯の交通混雑の抑制を図る。	250	R7	200	R12	

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針-1(東西の連携強化とコミュニティの形成と維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東西エリアの連携を強化するために、自由通路を整備する。</li> <li>・西口にイベント開催などの交流機能を持ち合わせた駅前広場を整備して、地域交流を推進する。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <p>道路:自由通路(エレベーターを含む)                      地域生活基盤施設:西口駅前広場(環境空間)</p>
<p>整備方針-2(交通結節点機能の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西口ロータリーを新設し、駅利用へのアクセス性を向上させることによって、交通混雑を解消させる。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <p>道路:群馬総社駅西口線、西口駅前広場(交通空間)</p>
<p>整備方針-3(既存施設の安全性、快適性向上と利用意識の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東口ロータリーの改修に合わせて休憩施設整備し、滞在快適性を向上させる。</li> <li>・東口ロータリーを改修し、駅利用者の安全性を向上させる。</li> <li>・東口ロータリーの改修により、公共空間を活かした地域の交流機会を活性化させる。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <p>高質空間形成施設:シェルター</p> <p>【関連事業】</p> <p>東口ロータリー改修事業</p>
<p>その他</p>	
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西口駅前広場基本設計において、ワークショップ形式により住民意向を反映した西口駅前広場整備イメージをまとめた。</li> <li>・ワークショップを契機に群馬総社駅周辺における参加者が主体となった取り組みが動き始めた。</li> </ul>	



群馬総社駅周辺地区	面積	49.6 ha	区域	総社町植野の一部と、総社町高井の一部
-----------	----	---------	----	--------------------

